

青梅市 公園施設長寿命化計画  
(公園橋りょう長寿命化計画)

2025(令和7)年3月

青梅市 環境部 公園緑地課

# 青梅市 公園施設長寿命化計画（公園橋りょう長寿命化計画）

## 目次

はじめに	3
1. 目的	3
2. 位置づけ	3
様式0	4
1. 都市公園整備状況	4
2. 計画期間（西暦）	4
3. 計画対象公園	4
4. 計画対象公園施設	4
5. 健全度を把握するための点検調査結果の概要（個別施設の状態等）	5
6. 対策の優先順位の考え方	5
7. 対策内容と実施時期	5
8. 都市公園別の健全度調査結果、長寿命化に向けた具体的対策、 対策内容・時期など	6
9. 対策費用	6
10. 計画全体の長寿命化対策の実施効果	6
11. 計画の見直し予定	6
様式1. 公園施設長寿命化計画調書（総括表）	7
様式2. 公園施設長寿命化計画調書（都市公園別）	8
様式3. 公園施設長寿命化計画調書（公園施設種類別現況）	10

(はじめに)

## 1. 策定の背景と目的

本市では、遊具や建築物等の公園施設について、老朽化に対する安全性の確保やライフサイクルコストの縮減、修繕時期の平準化など、効果的な維持・管理計画を推進し、財政負担の軽減・平準化を目的として平成26年7月に「青梅市公園施設長寿命化計画」を策定し、令和7年3月に改定した。

しかしながら、橋りょうは遊具等の他の公園施設とは維持管理手法や維持管理に掛かる費用が大きく異なることから、「青梅市公園施設長寿命化計画（公園橋りょう長寿命化計画）」（以下、「本計画」という。）では橋りょうのみを対象に長寿命化計画を別途策定した。

## 2. 位置づけ

本計画は、都市公園法施行令第10条にもとづき策定するもので、第7次青梅市総合長期計画に掲げる「みどりを生かした快適な都市環境の整備」の実現を図るため、青梅市公共施設等総合管理計画、青梅市緑の基本計画等の関連計画との整合を図りながら、公園橋りょう維持・管理分野の個別施設計画として定めるものとする。

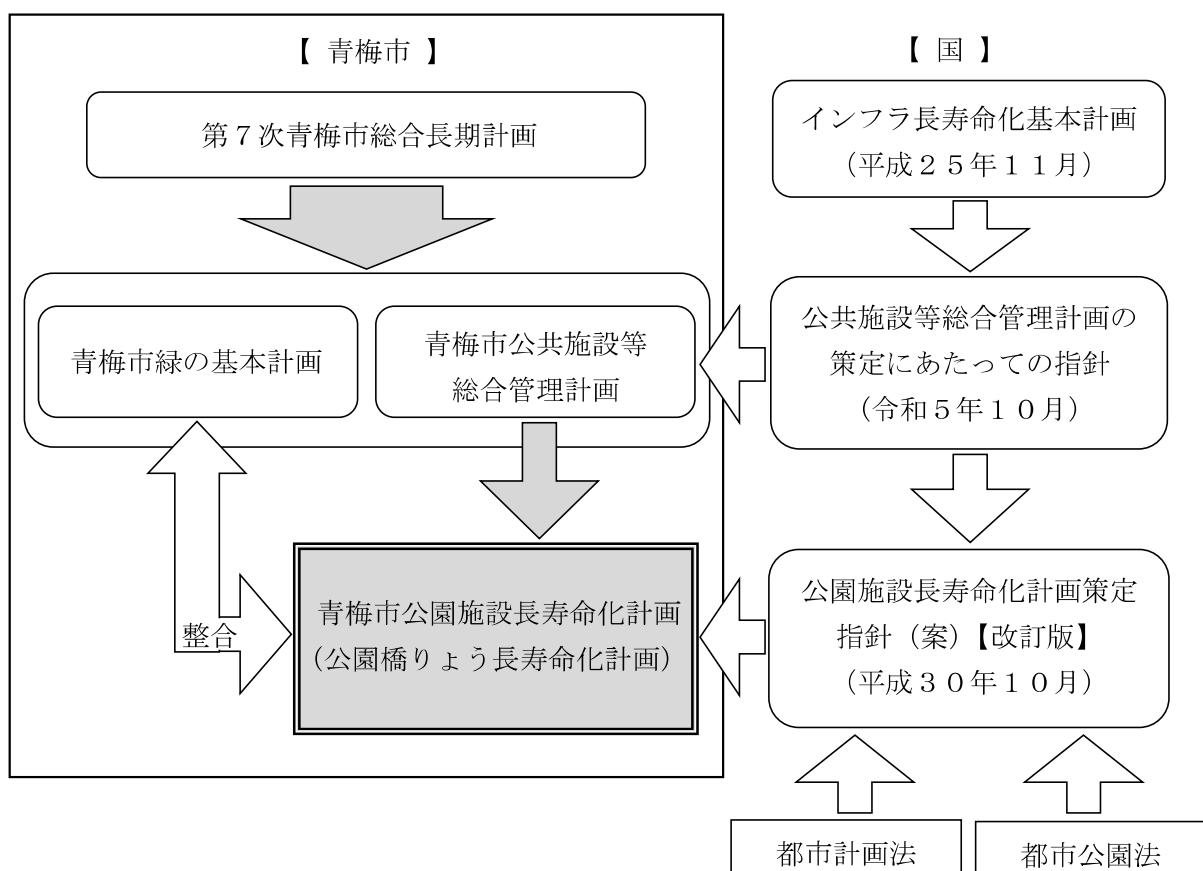


図1 公園施設長寿命化計画（公園橋りょう長寿命化計画）の位置づけ

(様式 0)

## 1. 都市公園整備状況

(2025 年 3 月末時点)

都市公園の数	都市公園の面積	一人当たり都市公園面積
107	136.76ha	10.63 m <sup>2</sup>

※管理施設以外の都市公園等を含む（新町緑地）

## 2. 計画期間（西暦） [2025 年度～2034 年度（10 箇年）]

## 3. 計画対象公園

### ①種別別箇所数

街区	近隣	地区	総合	運動	広域	風致	動植物	歴史	緩緑	都緑	その他	合計
										1	1	2

### ②選定理由

公園橋りょうは、遊具等の他の公園施設とは維持管理手法や維持管理に掛かる費用が大きく異なることから、市が管理する公園橋りょうのみを対象に長寿命化計画を別途策定した。

そのため、本計画の対象公園は、公園橋りょうが架橋する釜の淵公園と梅の公園とした。

## 4. 計画対象公園施設

### ①対象公園施設数

園路広場	修景施設	休養施設	遊戯施設	運動施設	教養施設	便益施設
3						

管理施設	災害応急対策施設	その他	合計
			3

### ②これまでの維持管理状況

鮎美橋の定期点検を 2022(令和 4)年度、柳淵橋と梅美橋の定期点検を 2024(令和 6)年度に実施している。

鮎美橋は、2022(令和 4)年度の点検結果を受けて、2023(令和 5)年度にケーブル定着部の改造成設計および塗替塗装設計を実施し、2024(令和 6)年度からその工事に着手している。

### ③選定理由

公園橋りょうは、遊具等の他の公園施設と維持管理手法や維持管理に掛かる費用が大きく異なることから、公園橋りょうの 3 橋のみを対象とした長寿命化計画を策定した。

## 5. 健全度を把握するための点検調査結果の概要（個別施設の状態等）

公園橋りょうの定期点検は、2022(令和4)年度から2024(令和6)年度に国土交通省の「道路橋定期点検要領」および「橋梁定期点検要領」に準拠した近接目視点検により実施した。

健全性の判定結果は、以下の通りである。

橋りょう名	道路橋定期点検要領 健全性の診断の区分（I～IV）	公園施設長寿命化計画策定指針（案） 健全度判定（A～D）	
		C	D
鮎美橋	III ※	C	※
柳淵橋	III	C	
梅美橋	I	A	

※鮎美橋は耐荷性能を担う主塔部および主桁部のケーブル定着部の近接目視点検が不可能であったため、2024(令和6)年度から2027(令和9)年度に実施されるケーブル定着部へのマンホール設置工事の後に、改めて点検を実施して健全性の診断を行う必要がある。

## 6. 対策の優先順位の考え方

対策は、健全性の診断の区分（I～IV）の評価が悪い橋りょうの対策を優先する。

健全性の診断の区分が同一の場合は、橋りょう規模が小さい梅美橋よりも規模が大きい鮎美橋および柳淵橋を優先することとした。なお、鮎美橋と柳淵橋の判定区分が同一の場合は、いずれも橋長100m以上で規模が大きく重要度が高い橋りょうであるため、2橋の損傷状況を精査して、どちらの橋りょうの対策を優先するか個別に検討を行うこととした。

## 7. 対策内容と実施時期

### ①日常的な維持管理に関する基本的方針

- 路面の清掃等の維持保全を適宜行い、橋りょうの安全な通行を維持する。
- 日常点検（巡回）を行い、橋りょう利用者や桁下等の第三者への被害が懸念される損傷が確認された場合は、橋りょうの使用の中止や被害防止のための措置を行う。

### ②公園施設の長寿命化のための基本方針

- 公園橋りょうは、原則5年に1回の定期点検を実施し、健全性を把握する。
- 定期点検に加えて斜張橋の鮎美橋は、10年毎のケーブル張力調査と20年毎の過流探傷調査、ニールセン・ローゼ橋の柳淵橋は、20年毎の吊り材の張力調査を実施する。
- 最新の定期点検の結果を反映させるために、定期点検の結果を踏まえた長寿命化計画の見直しを行い、橋りょうの修繕を行うことで、橋りょうの長寿命化と修繕費用の縮減を図る。
- 規模が大きい鮎美橋と柳淵橋は、予防保全的な管理を行うこととし、損傷が軽微な段階で塗替塗装等の対策を実施し、高い健全性を維持する。
- 規模が小さいラーメン橋の梅美橋は、事後保全的な管理を行うこととし、損傷が顕在化した段階で補修を実施する。

8. 都市公園別の健全度調査結果、長寿命化に向けた具体的対策、対策内容・時期等  
※ 別添「公園施設長寿命化計画調書」（様式1「総括表」、様式2「都市公園別」、様式3「公園施設種類別現況」）による

9. 対策費用

①予防保全型施設の概算費用合計（10年間）	559, 827千円
②事後保全型施設の概算費用合計（10年間）	2, 807千円
③概算費用合計（10年間）【①+②】	562, 634千円
④単年度あたりの概算費用【③/10】	56, 263千円

備考）計画期間の概算費用（千円）を記述（様式1、様式2との整合に留意）。

10. 計画全体の長寿命化対策の実施効果

本計画における10年間でのライフサイクルコスト縮減額は、139, 780千円である。

11. 計画の見直し予定

① 計画の見直し予定年度（西暦）：[2029年度]

② 見直し時期、見直しの考え方など

中長期的な視点を持った継続性のある維持管理事業を計画するため、計画策定期間は10年とするが、計画と実態で橋りょうの健全性や事業の進捗状況に乖離が生じることを防ぐため、最新の定期点検結果等を踏まえて計画の見直しを行うこととした。

(様式1) 公園施設長寿命化計画調書(総括表)

公園名	種別	供用年度	長寿命化を実施する公園施設	主な公園施設			長寿命化対象公園施設数	年次計画(費用:千円)									
				設置年度	経過年数	処分制限期間など		2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年
釜の淵公園	都市緑地	1967年7月1日	橋梁(鮎美橋) 橋梁(柳淵橋)	1972年 1983年	52年 41年	-	2	0	11,000	120,534	167,900	183,866	3,333	5,500	29,800	13,200	24,694
梅の公園	観光公園	1972年3月1日	橋梁(梅美橋)	1991年	33年	-	1	0	0	0	0	534	1,667	0	0	0	606
								0	11,000	120,534	167,900	184,400	5,000	5,500	29,800	13,200	25,300

公園箇所数計: 2

概算費用合計(千円): 562,634

(様式2) 公園施設長寿命化計画調書(都市公園別)

公園名	公園種別	施設コード	公園施設種類【選択】	公園施設名【選択】	具体的施設名称	数量		規模	主要部材【選択】	設置年度	経過年数	処分制限期間など	使用見込み期間	健全度調査以前に実施した補修の有無		健全度調査			管理類型	対策内容(改築、更新含む)・時期 ※左に費用、右に内容を記載する												長寿命化に向けた特記事項					
						数値	単位【選択】							有無	年度	劣化状況	健全度	緊急度	対策を踏まえた更新見込み年度	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年								
釜の湯公園	都市緑地	ENR0001	園路広場	橋梁	鉄美橋	1	橋	121m	スチール	1983	41	-	-	O	2000	2022	主桁や塔柱に腐食や防食機能の劣化が見られる	C	高	予防	-	-	塗装+改修工事	-	塗装+改修工事	120.534	塗装+改修工事+点検	8,623	点検	1,667	長寿命化計画の見直し	5,500	補修設計	29,800	橋面防水工+伸縮装置取替工	14,172	ケーブル定着部の健全性を確認する必要がある。
釜の湯公園	都市緑地	ENR0002	園路広場	橋梁	柳淵橋	1	橋	103m	スチール	1972	52	-	-	O	2008	2024	床版の鉄筋露出、減析の腐食が見られる	C	高	予防	-	-	11,000	補修設計	167,900	塗装+床版補修工事	175.243	塗装+床版補修工事+点検	1,667	長寿命化計画の見直し	13,200	上部工復元設計	10,522	点検+吊り材張力調査	2030年の長寿命化計画の改訂費は、橋梁数で算分。2029年と2034年の点検費は、橋長比率で算分。		
														0	11,000	120.534	167,900	183,866	3,333	5,500	29,800	13,200	24,694														

概算費用合計(千円): 559,827

(様式2) 公園施設長寿命化計画調書(都市公園別)

公園名	公園種別	施設コード	公園施設種類【選択】	公園施設名【選択】	具体的施設名称	数量		規模	主要部材【選択】	設置年度	経過年数	処分期制限期間など	使用見込み期間	健全度調査以前に実施した補修の有無		健全度調査			管理類型	対策内容(改築、更新含む)・時期 ※左に費用、右に内容を記載する											長寿命化に向けた特記事項			
						数値	単位【選択】							有無	年度	年度	劣化状況	健全度	緊急度	対策を踏まえた更新見込み年度	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年				
梅の公園	観光公園	ENR0001	園路広場	橋梁	梅美橋	1	橋	7.5m	コンクリート	1991	33	-	-	-	x	-	2022	健全	A	低	事後	-											606	点検

概算費用合計(千円): 2,807

2030年の長寿命化計画の改訂費は、橋梁数で  
案分。  
2029年と2034年の点検費は、橋長比率で案  
分。

### (様式3) 公園施設長寿命化計画調書(公園施設種類別現況)

青梅市 公園施設長寿命化計画  
(公園橋りょう長寿命化計画)

■発行者／青梅市  
■発行日／2025（令和7）年3月  
■企画編集／青梅市公園緑地課  
〒198-8701  
東京都青梅市東青梅 1-11-1  
TEL：0428-22-1111（代表）